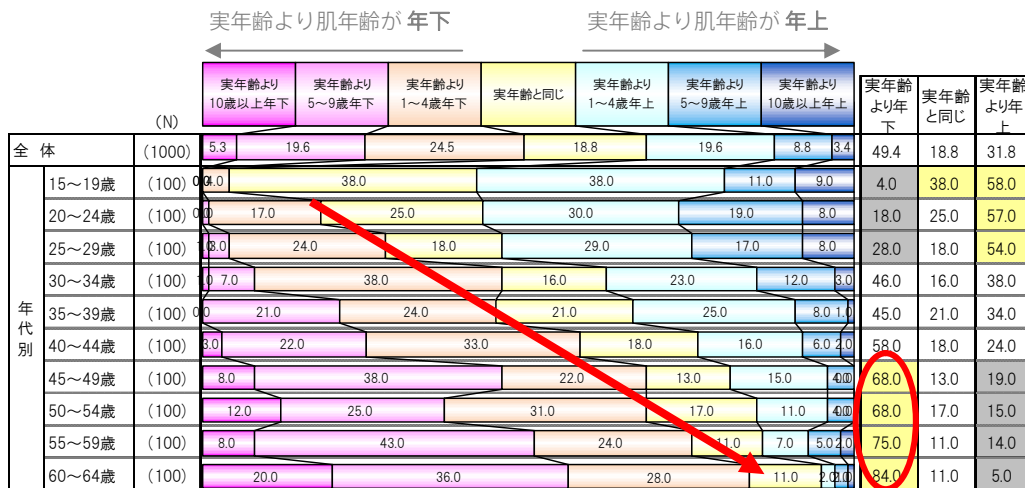


## 「今の肌は年齢よりも若い。将来の肌も若くありたい。」 年齢を重ねた現代女性は肌の若さをあきらめない

### 「女性の化粧行動・意識に関する実態調査～スキンケア篇 2008～」より

ポーラ文化研究所は化粧文化研究の一環として現代女性の生活や化粧に関する意識・行動について、継続して調査を行なっています。今回の調査では、肌の老化意識とスキンケアに関する分析を行いました。年代別に実年齢と本人が思う肌年齢の差をみたところ、年代が上がるにつれ「肌は年齢よりも若い」と思っている人が多くなるといった、現代女性のエイジング意識がうかがえました。

今の自分の肌年齢を何歳くらいに思っているかを調査したところ、肌は実年齢より若いと思う人が30代では約45%だったことに対して、40代から50代では約60%以上、60代前半では84%に達し、年代が上がるほど、自分自身の肌年齢は実年齢より若いと思う人が多いという結果となった。(下表参照)



■図表 現在の肌年齢（本人意識）と現在の実年齢の差（基数：対象者全員 1000人）

また、スキンケアによって手に入れたい10年後の肌年齢を調べると、40代後半以上では10年後の実年齢より平均で9歳以上肌を若くしたいと思っており(6頁)、肌年齢を実年齢より一層若くしたいと思う人が若年層より多いといえる。

現代の年齢を重ねた女性は、①肌の老化を実感しつつも(1頁)、②現在の肌は年齢よりも若いと感じている(5頁)。さらにスキンケアによって③将来の肌年齢も若くしたい(6頁)と思っており、肌の若さをあきらめないというエイジング意識がうかがえる。

【実施概要】 調査名：女性の化粧行動・意識に関する実態調査～スキンケア篇 2008～

調査時期：2008年3月 調査方法：インターネット調査

調査対象：首都圏（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）に居住する15～64歳の女性1000人※中学生を除く

調査の詳細報告はホームページでもご覧いただけます <http://www.po-holdings.co.jp/csr/culture/bunken/index.html>

【リリースに関するお問い合わせ】

(株) ポーラ・オルビスホールディングス グループ広報室 TEL 03-3494-7653 / FAX 03-3494-7391

【調査内容に関するお問い合わせ】

ポーラ文化研究所

TEL 03-5795-0941 / FAX 03-3280-8891

# 1 現在の肌の老化実感

## 1) 肌の老化実感度

全体の4割が、肌の老化実感者（とても老化+老化を感じている）。「やや老化を感じている」を含めると、8割以上が老化を感じている（図表1）。

年代が高い層で老化実感者が多く、30代の4割、50代の5割程度が老化実感者。

**20代と30代を境に、肌の老化実感者（とても老化+老化を感じている）が増加**（20代後半26%→30代前半41%）している。成長期にあたる10代後半では、老化実感者は8%と僅少。女性は加齢とともに老化を実感している様子。

■図表1. 現在の肌の老化実感度（基数：対象者全員 1000人）

	(N)	老化実感者				老化非実感者		老化実感者 (%)	老化非実感者 (%)
		とても老化を感じている	老化を感じている	やや老化を感じている	ほとんど老化を感じることはない	老化を感じることはない			
全体	(1000)	10.7	28.4	42.1	11.9	6.9	39.1	18.8	
年代別	15~19歳	6.0	14.0	35.0	43.0		8.0	78.0	
	20~24歳	11.0	14.0	31.0	31.0	13.0	25.0	44.0	
	25~29歳	8.0	23.0	57.0	12.0	5.0	26.0	17.0	
	30~34歳	7.0	34.0	47.0	9.0	8.0	41.0	12.0	
	35~39歳	16.0	26.0	51.0	7.0	0.0	42.0	7.0	
	40~44歳	8.0	35.0	47.0	9.0	1.0	43.0	10.0	
	45~49歳	20.0	32.0	41.0	6.0	0.0	52.0	7.0	
	50~54歳	16.0	35.0	45.0	3.0	0.0	51.0	4.0	
	55~59歳	13.0	41.0	45.0	0.0	0.0	54.0	1.0	
	60~64歳	11.0	38.0	43.0	6.0	4.0	49.0	8.0	

※表の網掛け：n=30以上の場合、全体より10%以上高いスコアに薄黄色（■）、10%以上低いスコアに灰地（■）で網掛け

## 2) 肌の老化実感現象

肌の老化を感じている人（とても老化+老化+やや老化を感じている）に、どのような老化現象を感じているかたずねたところ（図表2）、30~40代では「シミ・そばかす」が1~2位であったが、**年代が上がると「たるみ」「小ジワ・シワ」「ハリのないさ」を感じる人が増え、50代以上では上位3位に入る。**

また、一人あたりが実感している老化現象の種類（平均反応数）は、60代前半では平均4.65種類であり、20~40代の約6種類とくらべるとやや少ない。しかしながら、60代前半は実感している特定の老化現象のスコアが高く、「たるみ」「小ジワ・シワ」「ハリのないさ」は6割以上に達し、その他の現象は4割以下にとどまっている。

**年齢を重ねた年代では、「たるみ」「小ジワ・シワ」「ハリのないさ」といった、特定の老化現象に実感が集中している**とうかがえる。

■図表2. 実感している肌の老化現象 上位順位表（基数：肌の老化実感度 とても~やや老化を感じている人 812人）

	(N)	順位										平均反応数	
		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位		
全体	(812)	小ジワ・シワ	シミ・そばかす	たるみ	ハリのないさ	かさつき・乾燥	くすみ	毛穴の開きの目立ち	目のまわりのクマ	ホウレイセンの目立ち	毛穴の汚れの目立ち	5.86	
年代別	15~19歳	吹き出物・ニキビ	かさつき・乾燥	肌荒れ	シミ・そばかす	毛穴の開きの目立ち	毛穴の汚れの目立ち	脂っぽさ	目のまわりのクマ	小ジワ・シワ	肌が敏感	たるみ:13.6% ハリのないさ:4.5%	4.00
	20~24歳	かさつき・乾燥	吹き出物・ニキビ	毛穴の汚れの目立ち	目のまわりのクマ	毛穴の開きの目立ち	肌荒れ	肌のキメが荒らい	化粧のりが悪い	シミ・そばかす	くすみ	小ジワ・シワ:25% たるみ:19.6%	6.86
	25~29歳	かさつき・乾燥	毛穴の開きの目立ち	シミ・そばかす	目のまわりのクマ	毛穴の汚れの目立ち	化粧のりが悪い	小ジワ・シワ	吹き出物・ニキビ	くすみ	ハリのないさ	たるみ:25.3%	5.71
	30~34歳	シミ・そばかす	小ジワ・シワ	かさつき・乾燥	ハリのないさ	くすみ	毛穴の開きの目立ち	目のまわりのクマ	化粧のりが悪い	たるみ	毛穴の汚れの目立ち		5.93
	35~39歳	シミ・そばかす	小ジワ・シワ	毛穴の開きの目立ち	たるみ	ハリのないさ	くすみ	肌のキメが荒らい	かさつき・乾燥	毛穴の汚れの目立ち	ホウレイセンの目立ち		6.76
	40~44歳	小ジワ・シワ	シミ・そばかす	たるみ	かさつき・乾燥	くすみ	毛穴の開きの目立ち	ハリのないさ	化粧のりが悪い	ホウレイセンの目立ち	肌のキメが荒らい		6.39
	45~49歳	シミ・そばかす	たるみ	小ジワ・シワ	ハリのないさ	くすみ	毛穴の開きの目立ち	目のまわりのクマ	かさつき・乾燥	ホウレイセンの目立ち	毛穴の開きの目立ち	化粧のりが悪い	6.11
	50~54歳	たるみ	ハリのないさ	小ジワ・シワ	シミ・そばかす	くすみ	ホウレイセンの目立ち	目のまわりのクマ	かさつき・乾燥	ホウレイセンの目立ち	毛穴の開きの目立ち	化粧のりが悪い	5.46
	55~59歳	たるみ	ハリのないさ	小ジワ・シワ	シミ・そばかす	くすみ	ホウレイセンの目立ち	目のまわりのクマ	かさつき・乾燥	ホウレイセンの目立ち	毛穴の開きの目立ち	化粧のりが悪い	5.70
	60~64歳	たるみ	小ジワ・シワ	ハリのないさ	シミ・そばかす	くすみ	ホウレイセンの目立ち	目のまわりのクマ	かさつき・乾燥	毛穴の開きの目立ち	肌のキメが荒らい	4.65	

3) 将来の肌の老化不安度

全体の5割が、将来の肌の老化を不安（とても不安+不安と思っている）と思っており、「やや不安と思っている」を含めると、8割以上に達する（図表3）。

年代別に見ると、10~30代では年齢を重ねるほど肌の老化を不安と思う人が多く、30代で66~68%に達し、

肌の老化を不安に思うピークは30代となっている。40~50代においても半数程度が不安と思っている。

また、老化を実感している人ほど将来の老化に不安を感じている。

■図表3. 将来の肌の老化不安度 (基数：対象者全員 1000人)

		不安と思っている人					不安とっていない人				
		とても不安 思っている	不安 思っている	やや不安 思っている	ほとんど不安 思っていない	不安 思っていない	とても不安 思っている	不安 思っている	とても不安 思っている	不安 思っている	
全体	(1000)	24.1	26.9	33.5	12.1	3.4	51.0	15.5			
年代別	15~19歳	9.0	22.0	45.0	15.0	9.0	31.0	24.0			
	20~24歳	28.0	24.0	29.0	12.0	7.0	52.0	19.0			
	25~29歳	28.0	31.0	31.0	7.0	3.0	59.0	10.0			
	30~34歳	26.0	40.0	25.0	6.0	3.0	66.0	9.0			
	35~39歳	39.0	29.0	21.0	11.0	0.0	68.0	11.0			
	40~44歳	20.0	34.0	37.0	7.0	2.0	54.0	9.0			
	45~49歳	28.0	16.0	45.0	10.0	1.0	44.0	11.0			
	50~54歳	21.0	25.0	32.0	16.0	6.0	46.0	22.0			
	55~59歳	25.0	24.0	30.0	20.0	1.0	49.0	21.0			
60~64歳	17.0	24.0	40.0	17.0	2.0	41.0	19.0				
現在の 老化 実感 度 別	老化実感者	48.1					30.7	16.1	4.8	78.8	5.1
	やや老化実感者	10.5					28.5	47.7	12.4	39.0	13.3
	老化非実感者	4.8	15.4	37.8	27.7	14.4	20.2	42.0			

※表の網掛け：n=30以上の場合、全体より10%以上高いスコアに薄黄色（■）、10%以上低いスコアに灰地（■）で網かけ

4) 不安に思っている将来の肌の老化現象

不安に思う将来の肌の老化現象をみると（図表4）、

「小ジワ・シワ」は年代にかかわらず不安に思う老化現象の上位3位内に入り、

20代以上の6割以上が不安と思っている。

一方、「たるみ」「ハリのないさ」は年代が上がるほど不安上位に入り、40代以上では「たるみ」

「小ジワ・シワ」「ハリのないさ」が不安に思う老化現象上位3位、「たるみ」は40代後半以上では1位となっている。

また、一人あたりが不安に思う将来の老化現象の種類（平均反応数）をみると、20~40代前半では平均6.68~8.04種類と他年代より多く、肌の老化への不安が多岐の現象にわたっている。

■図表4. 将来不安に思う肌の老化現象 上位順位表 (基数：対象者全員 1000人)

		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	平均 反応数	
全体	(1000)	小ジワ・シワ	たるみ	シミ・そばかす	ハリのないさ	ホウレイセンの目立ち	くすみ	毛穴の開きの目立ち	かさつき・乾燥	目のまわりのクマ	毛穴の汚れの目立ち	6.40	
年代別	15~19歳	小ジワ・シワ	シミ・そばかす	吹き出物・ニキビ	毛穴の開きの目立ち	たるみ	たるみ	毛穴の開きの目立ち	乾燥	特になし	目のまわりのクマ	ハリのないさ	5.07
	20~24歳	小ジワ・シワ	毛穴の汚れの目立ち	シミ・そばかす	くすみ	たるみ	目のまわりのクマ	毛穴の開きの目立ち	ハリのないさ	乾燥	肌荒れ	8.04	
	25~29歳	シミ・そばかす	小ジワ・シワ	たるみ	かさつき・乾燥	くすみ	ハリのないさ	ホウレイセンの目立ち	毛穴の開きの目立ち	目のまわりのクマ	毛穴の汚れの目立ち 肌荒れ 肌のキメがあらぬ	6.68	
	30~34歳	小ジワ・シワ	シミ・そばかす	たるみ	ハリのないさ	ホウレイセンの目立ち	くすみ	かさつき・乾燥	毛穴の開きの目立ち	化粧のりが悪い	目のまわりのクマ	6.83	
	35~39歳	小ジワ・シワ	シミ・そばかす	たるみ	ハリのないさ	ホウレイセンの目立ち	くすみ	毛穴の開きの目立ち	乾燥	肌のキメがあらぬ	毛穴の汚れの目立ち	7.49	
	40~44歳	小ジワ・シワ	たるみ	ハリのないさ	ホウレイセンの目立ち	シミ・そばかす	たるみ	毛穴の開きの目立ち	くすみ	乾燥	肌のキメがあらぬ	化粧のりが悪い	6.98
	45~49歳	たるみ	ハリのないさ	小ジワ・シワ	シミ・そばかす	ホウレイセンの目立ち	くすみ	毛穴の開きの目立ち	乾燥	目のまわりのクマ	肌のキメがあらぬ	6.15	
	50~54歳	たるみ	小ジワ・シワ	ハリのないさ	ホウレイセンの目立ち	シミ・そばかす	くすみ	目のまわりのクマ	乾燥	毛穴の開きの目立ち	肌のキメがあらぬ	5.62	
	55~59歳	たるみ	小ジワ・シワ	ハリのないさ	ホウレイセンの目立ち	シミ・そばかす	くすみ	目のまわりのクマ	乾燥	毛穴の開きの目立ち	化粧のりが悪い	5.77	
60~64歳	たるみ	小ジワ・シワ	ハリのないさ	ホウレイセンの目立ち	シミ・そばかす	くすみ	目のまわりのクマ	乾燥	毛穴の開きの目立ち	毛穴の汚れの目立ち 肌荒れ	5.01		

### 3 肌の老化実感と将来の不安

#### 5) 将来の肌の老化を不安と思っている人の老化実感状況

将来の肌の老化を不安と思っている人（とても不安+不安と思っている）の老化実感状況をみると（図表5）、30代以下では、老化実感者ではないが、不安と思っている人が約3割と他年代より多い。また、不安と思っている人における老化実感者ではない人の割合は、10代で9割、20代で5～6割に達しており、若い年代では、肌の老化はまだよく実感していないが不安を感じている人が多いといえる。

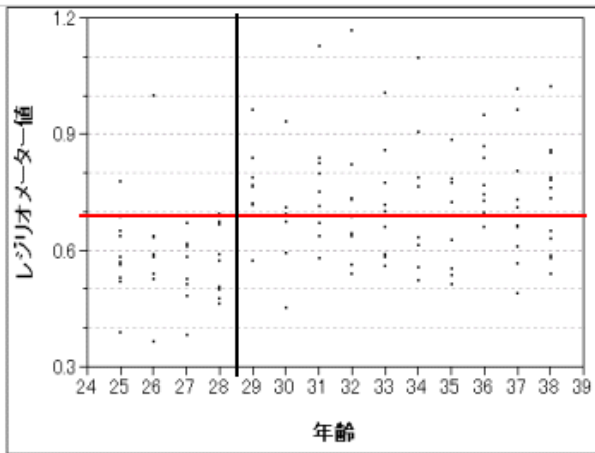
■図表5. 将来の肌の老化を不安と思っている人と老化実感状況（基数：対象者全員 1000人）

		(N)	将来の肌の老化を不安と思っている人		不安と思っている人における老化実感者ではない人の割合
			老化実感者 かつ 不安と思っている人	老化実感者ではないが、不安と思っている人	
全体		(1000)	30.8	20.2	39.6 (510人中202人)
年代別	15～19歳	(100)	3.0	28.0	90.3 (31人中28人)
	20～24歳	(100)	24.0	28.0	53.8 (52人中28人)
	25～29歳	(100)	22.0	37.0	62.7 (59人中37人)
	30～34歳	(100)	38.0	28.0	42.4 (66人中28人)
	35～39歳	(100)	40.0	28.0	41.2 (68人中28人)
	40～44歳	(100)	31.0	23.0	42.6 (54人中23人)
	45～49歳	(100)	39.0	5.0	11.4 (44人中5人)
	50～54歳	(100)	37.0	9.0	19.6 (46人中9人)
	55～59歳	(100)	40.0	9.0	18.4 (49人中9人)
60～64歳	(100)	34.0	7.0	17.1 (41人中7人)	

※老化実感者：肌の老化について、とても老化+老化を感じている人

### 参考

シワの形成過程からもわかるように、ある日突然シワは現れるものではなく、真皮のコラーゲン線維束構造が徐々に崩壊していくことにより少しずつ形成されます。つまり、シワの形成には段階があり、前兆ともいべき肌状態があるものとポーラでは考えます。以上のことを検証するために、深いシワが現れる年代よりも若いボランティアとして25～38歳の健康人女性127名を対象に肌測定およびアンケート調査を実施しました。肌測定（目尻）では、ポーラ独自で開発したレジリオメーター※を用いて実施したところ、29歳から真皮コラーゲン構造の状態が悪い人が急激に増え始めることを見出しました（下図）。



レジリオメーター値は、高いほどコラーゲンの線維束状態は悪く、低いほど良いということを示しています。赤線はレジリオメーター値の平均値であり、29歳から平均値を上回る人が急激に増えている。つまりコラーゲン線維束状態の悪い人が急激に増え始めることがわかります。

※レジリオメーター  
レジリオメーターとは皮膚を傷つけることなく、真皮におけるコラーゲン線維束構造の状態を把握できるポーラオリジナルの肌測定機器。イギリスのウェールズ大学医学部皮膚科との共同開発。

（株式会社ポーラ 2004年8月26日発表プレスリリース <http://www.pola.co.jp/company/home/back/2004/16r097.html> より抜粋）

本報告では「小ジワ・シワ」を実感している人は、20代後半では35%にとどまっていたが、30代前半で約半数、30代後半以上で6割以上に達し、年代が上がるほど「小ジワ・シワ」の実感者が増加している（参照：図表2）。

上述の調査結果（株式会社ポーラ 2004年8月26日発表プレスリリース）を鑑みると、「小ジワ・シワ」の実感者が増加する30代に入る前の、29歳ごろからシワの形成の前兆段階である真皮コラーゲン構造の状態の変化を経験していると想定される。



# 4 アンチエイジング目的スキンケアの実行状況と今後意向

6) アンチエイジング目的のスキンケアの実行状況と今後の実行意向  
 アンチエイジング目的のスキンケアを行っている現実行者は全体の33%、  
 現実行者のほぼ全員が今後も行いたいと思っている (図表6)。

アンチエイジング目的のスキンケア現実行者は20代以下の若い年代で2割未満、30代~40代前半では31~37%、40代後半以上では46~56%に達しており、**年代が高い層でアンチエイジング目的のスキンケアを行っている人が多い。**  
 40代前半以下の年代は、およそ過半数が (現在は行っていないが) 今後行いたいと思っている新規実行意向層である。  
 新規実行意向層は、20代の若年層で66~69%と特に多く、  
**若い年代では今後アンチエイジング目的のスキンケアを行いたいと思う人が多い。**

現在の肌の老化を実感、将来の肌の老化を不安と思っている人ほど現実行者が多くなっている。  
 また、老化実感者ではないが将来の肌の老化を不安と思っている人のうち新規実行意向層は59%と多い。

■図表6. アンチエイジング目的スキンケアの現実行状況と今後意向 (基数: 対象者全員 1000人)

		今後実行意向者 (今後行いたいと思っている人)		今後実行非意向者 (今後行いたいと思っていない人)					
		現実行者 (現在行っている人)		現在行っていない人		現実行者 (現在行っている人)			
		実行意向継続層	新規実行意向層	(今後も) 実行非意向層	実行中止層	現実行者	今後実行意向者	今後実行非意向者	
		(N)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
全体	(1000)	33.1	49.3	17.5	0.1	33.2	82.4	17.6	
年代別	15~19歳	(100)	3.0	48.0	48.0	1.0	4.0	51.0	49.0
	20~24歳	(100)	9.0	66.0	25.0	0	9.0	75.0	25.0
	25~29歳	(100)	17.0	69.0	14.0	0	17.0	86.0	14.0
	30~34歳	(100)	31.0	56.0	13.0	0	31.0	87.0	13.0
	35~39歳	(100)	35.0	56.0	9.0	0	35.0	91.0	9.0
	40~44歳	(100)	37.0	54.0	9.0	0	37.0	91.0	9.0
	45~49歳	(100)	56.0	33.0	11.0	0	56.0	89.0	11.0
	50~54歳	(100)	49.0	37.0	14.0	0	49.0	86.0	14.0
	55~59歳	(100)	48.0	35.0	17.0	0	48.0	83.0	17.0
60~64歳	(100)	46.0	39.0	15.0	0	46.0	85.0	15.0	
現在の肌の老化実感	老化実感者	(391)	45.3	49.9	4.9	45.3	95.2	4.9	
	やや老化実感者	(421)	32.5	51.5	15.9	0	32.5	84.0	15.9
	老化非実感者	(188)	9.0	43.1	47.3	0.5	9.5	52.1	47.8
将来の肌の老化不安	不安と思っている人	(510)	39.6	54.9	5.3	39.8	94.5	5.5	
	やや不安と思っている人	(335)	29.9	52.2	17.9	0	29.9	82.1	17.9
	不安と思っていない人	(155)	18.7	24.5	56.8	0	18.7	43.2	56.8
実感 × 不安	老化実感者かつ不安と思っている人	(308)	46.1	52.3	1.6	46.1	98.4	1.6	
	老化実感者ではないが不安と思っている人	(202)	29.7	58.9	10.9	0.5	30.2	88.6	11.4

※表の網掛け: n=30以上の場合、全体より10%以上高いスコアに薄黄色 (■)、10%以上低いスコアに灰地 (■) で網掛け

※アンチエイジング目的スキンケアの現実行者: 現在 (最近1ヶ月)、アンチエイジング目的のスキンケア化粧品を使っている人

※実行意向継続層: 現在アンチエイジング目的のスキンケアを行っており、今後も行いたいと思っている層

新規実行意向層: 現在アンチエイジング目的のスキンケアを行っていないが、今後行いたいと思っている層

(今後も) 実行非意向層: 現在アンチエイジング目的のスキンケアを行っておらず、今後も行いたいと思っていない層

実行中止層: 現在アンチエイジング目的のスキンケアを行っているが、今後行いたいと思っていない層

※ここでの「アンチエイジング」は、顔の肌の老化予防・老化した肌の改善を指す

1) 現在の顔の肌年齢

現在、女性が感じている自分自身の肌年齢をみると（図表7）、

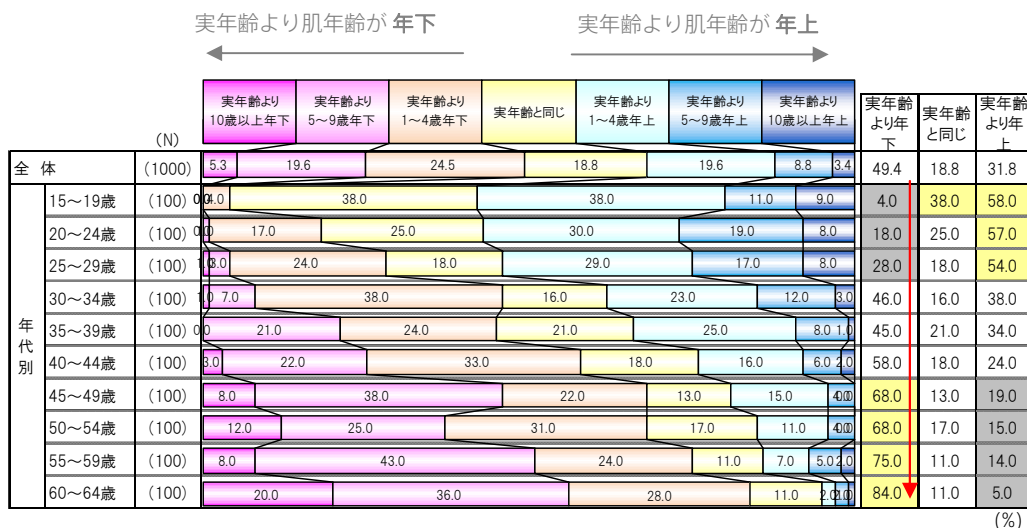
**年代が上がるほど、肌年齢が実年齢より年下と思う人が多い。**

30代では実年齢より肌年齢が年下と思う人が4.5割、40代以上では約6割以上に達している。

女性は年代が高い層で老化実感者が多くなっていると述べたが（参照：図表1）、

**老化を実感しつつも年代が上がるほど、自分自身の肌年齢が実年齢より年下と思う人が増えている（図表8）。**

■図表7. 現在の肌年齢と現在の実年齢の差（基数：対象者全員 1000人）

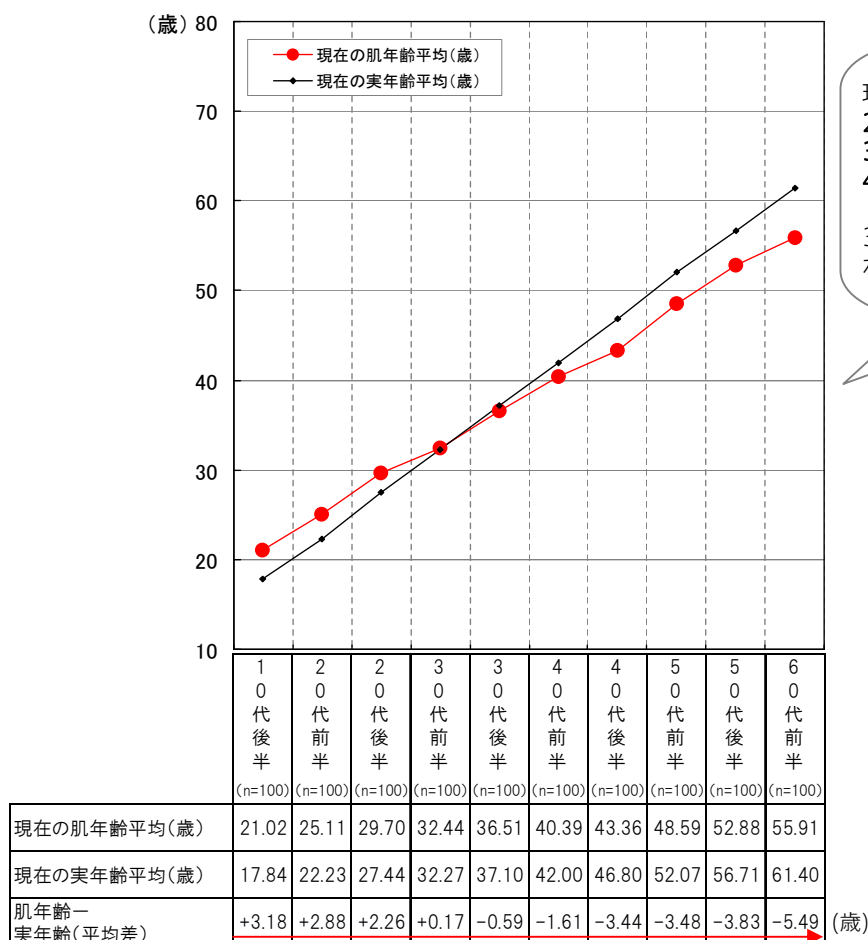


■図表8. 老化実感者における現在の肌年齢と現在の実年齢の差（基数：老化実感者 391人）

年代別	(N)	実年齢より年下	実年齢と同じ	実年齢より年上
老化実感者全体	(391)	46.5	15.9	37.6
15~19歳	(8)	0.0	12.5	87.5
20~24歳	(25)	8.0	12.0	80.0
25~29歳	(26)	23.1	19.2	57.7
30~34歳	(41)	31.7	12.2	56.1
35~39歳	(42)	35.7	16.7	47.6
40~44歳	(43)	39.5	14.0	46.5
45~49歳	(52)	51.9	17.3	30.8
50~54歳	(51)	54.9	21.6	23.5
55~59歳	(54)	64.8	13.0	22.2
60~64歳	(49)	79.6	16.3	4.1

※表の網掛け：n=30以上の場合、全体より10%以上高いスコアに薄黄色（■）、10%以上低いスコアに灰地（■）で網掛け  
 ※老化実感者：肌の老化について、とても老化+老化を感じている人

■図表9. 現在の肌年齢と現在の実年齢\_平均（基数：対象者全員 1000人）



現在の肌年齢の平均をみると、  
 20代以下は実年齢より2歳以上年上  
 30代は 実年齢±1歳内、  
 40代以上は実年齢より1.6歳以上年下  
 30代が肌年齢意識の変化ゾーンとみられる。

# 6 スキンケアによって手に入れたい将来の肌年齢

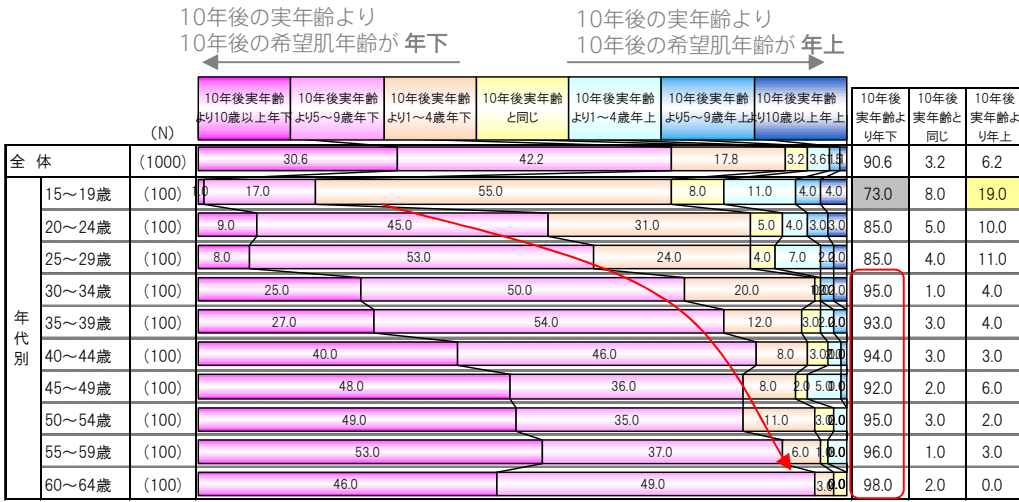
## 2) スキンケアによって手に入れたい10年後の肌年齢

スキンケアによって、10年後に手に入れたい肌年齢（希望肌年齢）をみると（図表9）、30代以上で9割以上、20代で8割強、10代でも7割が、10年後の実年齢より希望肌年齢が年下であり、

スキンケアによって**将来の肌年齢を将来の実年齢より若くしたいと、女性の多くが思っている。**また、年代が高い層では10年後の実年齢より希望肌年齢を「10歳以上年下」とする人が多く、実年齢との乖離が大きい。希望肌年齢の平均をみても40代後半以上では10年後の実年齢より希望肌年齢が平均9歳以上年下となっており（図表11）、**年代が高い層では、将来の肌年齢をより一層若くしたい人が多いといえる。**

また、老化実感者における希望肌年齢も（図表10）、年代が上がるほど実年齢より年下となっており、**老化を実感したからといって、女性の若い肌年齢志向は失われていない**とかがえる。

■図表9. 10年後の希望肌年齢と10年後の実年齢の差（基数：対象者全員 1000人）

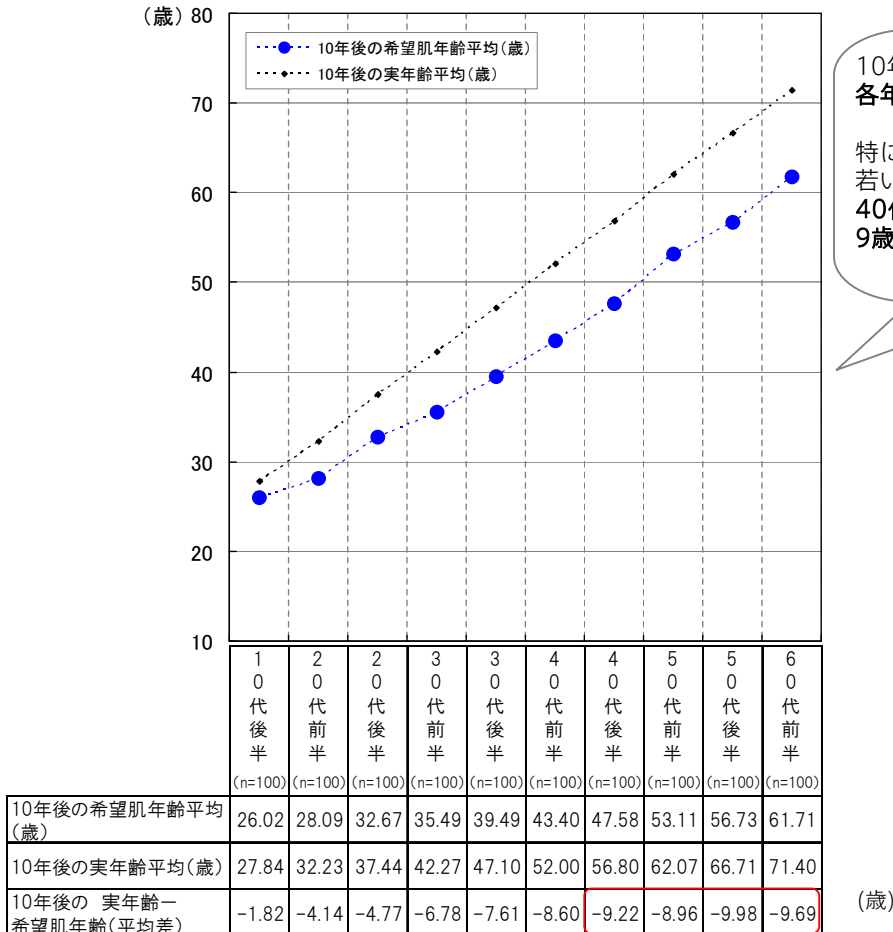


■図表10. 老化実感者における現在の肌年齢と現在の実年齢の差（基数：老化実感者 391人）

年代別	(N)	10年後実年齢より年下	10年後実年齢と同じ	10年後実年齢より年上
老化実感者全体	(391)	92.1	1.5	6.4
15~19歳	(8)	62.5	0.0	37.5
20~24歳	(25)	76.0	0.0	24.0
25~29歳	(26)	88.5	3.8	7.7
30~34歳	(41)	95.1	0.0	4.9
35~39歳	(42)	95.2	2.4	2.4
40~44歳	(43)	90.7	4.7	4.7
45~49歳	(52)	86.5	1.9	11.5
50~54歳	(51)	94.1	2.0	3.9
55~59歳	(54)	98.1	0.0	1.9
60~64歳	(49)	100.0	0.0	0.0

※表の網掛け：n=30以上の場合、全体より10%以上高いスコアに薄黄色（■）、10%以上低いスコアに灰地（■）で網掛け  
 ※老化実感者：肌の老化について、とても老化+老化を感じている人  
 ※希望肌年齢：スキンケアを行って、将来手に入れたい肌年齢

■図表11. 10年後の希望肌年齢と10年後の実年齢\_平均（基数：対象者全員 1000人）



10年後の希望肌年齢の平均をみると、**各年代で10年後の実年齢より年下**  
 特に、年齢を重ねた年代ではより一層若い希望肌年齢となっており、**40代後半以上は10年後の実年齢より9歳以上年下**